

※皆様からいただきましたご意見・ご要望につきましては、原文のまま掲載させていただいています。

移住・空き家・土地について

空き家・土地

空き家・土地を有効に活用出来れば良いのでは。家を探している方にできるだけ安く（賃貸又は売家）交渉できるように。

回答

町では空き家・土地バンク制度を活用して、空き家等の利活用を進めています。交渉については、法律により町が関与することができないため、紹介以後の売買（賃貸）契約に係る交渉は、トラブルを防ぐため仲介業者を通していただきます。

なお、契約に関する仲介手数料への助成制度がありますので、ご利用ください。



まちの事業紹介

◀「移住・定住」（6ページ～9ページ）では、空き家・土地バンク制度を活用した補助事業等を掲載しています

移住体験

田舎ならではの住み心地を分かってもらえるような体験宿泊施設や農地のレンタル、仕事場の確保等があると移住又はUターンしようか考え始めるきっかけになると思います。

回答

九重町への移住を体験してもらう施設として令和2年度に、飯田地区（釜ノ口）に移住体験住宅1棟を整備しています。

今後、コロナの感染状況を考慮しつつ、移住者向けポータルサイト等を活用してPRを行い移住促進を図ります。



移住者向けポータルサイト

◀九重町へ移住したい方への情報発信として「kokokura ココクラ」を令和3年10月に開設しました！



子育てについて

出産祝金

子供3人生まれたら50万とか4人生まれたら100万とかお祝い金をあげても良いのでは。私自身、子どもはいませんが、生まれたときに支援があると助かります。

回答

現在、出産祝金については、一律3万円の支給をしています。

また、第3子以降に18歳まで手当を支給する「子宝手当」では、最大で107万7千円（定期的支給）を給付しています。

この他にも、子育て世代へのさまざまな経済支援を行っています。



まちの事業紹介

◀「子育て」（14ページ～20ページ）では出産祝金や子宝手当の他、出産・子育てに関する17事業を掲載しています

子育ての情報発信

子育て世代への対応は充実していると思うので、そのような所を売りにして、もっと外部や内部にどんどん情報発信をしていくべき。

回答

子育て支援の情報発信については、ホームページや広報このえを通じて発信しており、これに加え、子育て支援アプリ「すくすくこのえ」を導入しています。

アプリの活用に関しては、母子手帳アプリ「母子モ」のダウンロードをお願いします。

また今後こうした子育て環境を外部へPRし、子育て世代の移住促進を図っていきます。



「すくすくこのえ」については、九重町ホームページまたは、広報このえ令和2年9月号特集をご覧ください。



◀九重町ホームページ（母子モ）



◀広報このえ（令和2年9月号）